



Title	TA (Teaching Assistant) の声 サイバーメディア フォーラム no.7 情報教育システム
Author(s)	
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2006, 7, p. 44-44
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70230
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

TA(Teaching Assistant)の声

研究室で使う Linux といえども、putty といった端末エミュレータで事足りてしまうため、GUI には長いことご無沙汰していました。GNOME 周りは割と昔からオシャレな感がありますが、最近では StarSuite や OpenOffice.org といったオフィススイートも充実したことで、実作業にも随分と頼もしくなったのではないのでしょうか。完成度の高い GUI のおかげで、PC を操作する一般的なノウハウが身につく一方、Linux というシステムに触れている実感はあまり無いかもしれません。情報活用基礎に臨む生徒の習熟度合いには大変な幅が見られました。初めて扱うソフトや言語に対してでも、機能を見つけ出して覚えるスピードはいかに普段から PC に慣れ親んでいるかで大きく違います。GUI から情報を読み取れない、いつどこをクリックするのか分からない、

生徒の一部は本格的にソフトに触れる少し前の段階で時間をロスしていました。また、ディレクトリの階層構造やファイル形式についての理解不足は、ファイルの保存・エクスポートの際のトラブルの種でした。利用の手引きや Mathematica のチュートリアルなど、丁寧に作りこまれた教材は至る所にあり、これに気がさえすれば大半の疑問は TA の出る幕もなく解決します。授業はデモを見せながらの説明と課題で進んでいきますが、一方で話を聞くのだけではなくこういった教材から自分で調べる方法を身につけることが、今後サイバーメディアセンターという恵まれた環境を有効活用していくための助けになることと思います。

情報科学研究科情報ネットワーク学専攻
博士前期課程 2 年 中村 雅俊

STS(Student Technical Staff)の声

今年度より STS として活動させていただいております。

情報科学科として、利用する機会も頻繁にあります。Windows の PC には慣れていても Linux 環境には馴染みがなく、特に一回生のころには些細なことから作業が行き詰まってしまうという声をよく聞きます。自力で時間をかけて解決する人や友達に助けを求める人は多くいましたが、それ以外の STS などに助けを求めるという人はあまり聞きません。

自力で問題解決に取り組むこともとても大切なことですが、小さな問題で大きな時間を失うのもとても惜しいことです。

より、利用者と運営者そしてその協力者の距離が縮まればと思います。

竹田夏木（基礎工学部 情報科学科）

利用学生の声

今まで windows をずっと使ってきたので新しい OS に触れる機会を持ててよかったです。

まだまだ使い方がよくわからない部分が多々ありますが、しっかり授業を聞いて Linux も使いこなせるようになりたいです。

Linux は大学で使う分には非常に便利だと思います。これからもよろしくをお願いします。

私はコンピュータに疎く、さらにいつも家庭で使っているシステムとは違うものだったため、とにかく最初は使いづらかった。しかし授業でこのシステムに触れ、宿題などもこなしていく中で、なんとか少しではあるが理解でき始めたように思う。特に授業は、一つ一つゆっくり進んでもらえるため、わかりやすいです。

Windows 以外の OS を初めて使ったので、最初は戸惑いの連続でした。

どこに何があるかも分からないし、自分は機械に強いわけではないので、恐る恐るといった感じで教員の指示に従っていた気がします。

しかし今では随分慣れてきたのか、自分から新しい機能を使ってみたり、どこをどうすれば使えるのかということが分かってきたようです。

これからの時代、Windows が全盛というわけにはいかないでしょう。画像や字体の美しさでいえば、マックの方が上だとも最近耳にします。

変化に対応していくことのできる、柔軟な適応能力を養うことがこれからの時代に必要なのだと思います。

その点で、Linux を授業で使わせていただいたことは一つの貴重な体験だったと思いますし、実践的な訓練になったと思います。

私は大阪大学の授業で初めて Linux システムを知りました。

今までコンピュータには windows と Mac しかないと思っていたので、Linux って何? って思いました。でも使ってみると、家で使っている windows より分かりやすかったです。

授業も丁寧で分かりやすいし、今まではパソコンがわりと苦手だった私も少しは使えるようになれそうで嬉しいです。

homepage 作成などはまだ初心者である私にとっては苦勞しそうな課題ですが、自分なりに頑張ってみようと思います。

サイバーメディアセンターで Linux システムを利用して思ったことは、単純に、いろいろな事が出来るなー、ということです。

しかし、単に絵を描くにしても、いろいろなツールがあり、自分が描きたい絵はどのツールを使えばいいのかを考えねばならず、ちょっと大変です。

ただ、使いこなせるようになれば非常に使いやすく、便利だと思います。

情報活用基礎の授業を通して Linux システムもつかいこなせるようになりたいと思います。

私は今まで windows しか使ったことがなかったので、ほかのシステム、特に Linux について全く知りませんでした。

Mac すら使ったことのない私には、この Linux は使い勝手はまだまだよくないですが少しでも馴れていければいいと思います。

windows と違って不便なところもありますが、便利などころもあると知ったので、それぞれのシステムの特徴を理解して今後の利用の役に立てばいいと感じています。

大学院生ですが教職免許取得の為に、この情報活用基礎の講義を受講しています。LINUX は学部時代に、この講義と同じような情報処理科目で履修した時に利用しました。普段私は論文紹介や業績報告会など研究におけるパソコンは LINUX ではないので、正直言えば戸惑いました。一番理解に苦しんだことがホームページ作成です。これまでホームページは一

方的に閲覧する側でありましたが、この講義におけるホームページ作成法などを聞いて作成し情報をメール以外の手法で発信する側にも簡単になれるということを感じました。ホームページ作成については、理解不足、未熟なところが多々ありますが、これを機に理解を深めていきたいと考えています。

今まで自宅で使用していたパソコンは windows だったので、最初は Linux システムに戸惑いがありました。

共通しているところもあるけれど、文書やドローツールのソフトが違い操作がわからないと何度か思いました。でも、使用していくたびに慣れてきて、どこにどのソフトがあるかということもわかってきました。今後もパソコンを使用する環境で暮していくと思うけれど、どの機種でもある程度使いこなせばいいと思いました。基本的な概念や仕組みは似ているところが多い気がします。

授業ではけっこう飲み込んでいる気がしましたが実際に試験を受けてみるとわからないことだらけでした。もっともっと詳しくなりたいです。

私が普段自宅で使っているのはウィンドウズなので Linux は新鮮でした。

使いはじめてみると便利な機能がたくさんついていて驚きました。

ホームページ作成ははじめてのことだったので間違えることも多く大変でしたが、Linux システムは文書が簡単にコピー出来たりしてとても助けられました。

Linux 以外の他のシステムのことに授業で触れてもらえると、更にパソコンについて理解を深められると思います。

この情報の授業で学習したことは他の授業で PC を使う際にも活用したいと思います。

私はずっと os といえば Windows だけだと思っていたので、Linux というシステムの存在を知り驚いた。IE のかわりに mozilla、word のかわりに gnome・・・最初は非常に使いづらいと感じたが、基本的操作は

Windows と似ているので、慣れるのに時間はかからなかった。

新しいシステムに適応するという経験ができてとてもよかったと思っている。

ただし、今の時点では Windows 使用者がとても多いので、インターネットをしているときなどに、機種依存文字を Linux が正しく表示できないのは残念。まだ Linux の利点が十分に理解できていないので、これからも学習を深めていきたい。

私は、機械がとても苦手なので、PC を使った授業はとても難しそうについていけないかも知れないと不安でした。

HTML を用いて、ホームページをつくるというのはちょっと難しいと思いましたが、その他のタイピング練習や、GIMP、StarSuite 8 Draw/Writer の講義は、内容がわかりやすく進み具合も適当で、私でも十分理解しながらついていくことができました。

数年前から家にある Windows ですら、ほとんど理解できず、使うことといったらインターネットが Word ぐらいだったので、Linux システムという聞き慣れないシステムの PC をと使うことができるのかと不安でしたが、それなりにでも機能を使うことが出来るようになったので、とてもうれしいです。これから、表計算など、もっと他の機能の働き、使い方を学んで、身につけていけたら良いと思っています。そして、図書館などに設置してある Linux システムの PC を使って、今後の他の講義の課題などの役に立てたいです。

今まで、高校での情報の授業や自宅で利用していたのは Windows だったので、Linux システムを利用するのは初めてで、とても新鮮に感じた。

これまで文字を入力するぐらいしかしたことがなく、GIMP や StarSuite Draw を使って図を描く作業は楽しかった。

自宅では Windows を使い続けることになるが、学内のパソコンでよく使いそうなものは一通りマスターできたのではないかと思う。

しかし、やはり子供のころから Windows が身近にあ

り、少し慣れ親しんでいたことから、これら二つの内容や使用方法の違いが常に感じられ、戸惑う点多かった。

将来、大阪大学以外で Linux システムを利用することがあるかどうかは、私にはよくわからないが、やはりどちらも使いこなせるようになっておくべきなのだろうか。

基本的なことは覚えておければいいなと思う。

初めは不安だったが、授業が予想よりはるかに丁寧で、わかりやすく親切だったので、授業に関して困ることはなかったのが救いだった。

残りの授業でもしっかりと学べればと思う。

私はパソコンというと、メールとインターネットぐらいしか使うことができなかつたのですが、この情報活用基礎の授業を通じて様々なことを学ぶことができました。

特に、HP 製作の授業の回で、タグというものの存在は漠然と知っていたのですが、何だか難しそう・・・と今まで触れないようにしていたものがやってみると意外と面白くて、びっくりしました。これからはパソコンに対して苦手意識を持たず積極的に取り組みたいと思います。

これまで Windows しか使ったことがなく、パソコンといえば Windows に決まってる、というくらいに思っていたので、最初は戸惑いました。馴染みのない紫やグレーのデザインもとっつきにくい印象でした。しかし、実際に使って多少慣れてくると、もともと機能そのものには何も不自由するところがないので、気にならなくなりました。そもそもメニューバーの並びとか、基本的な部分は Windows と大差なく、むしろ Linux のほうがわかりやすいと思うときもあります。

だから今は Linux システムを使うことには何の抵抗もありません。

しかし個人でパソコンを持つとなると、たいていは Linux を使うことはないし、クラスでもほとんどの人がそうだと思います。情報の授業の中で、あえて馴染みのないシステムを使うのは、意味のあること

だと思います。

私は今までに、Windows システムにおける特定のソフトに触れたことしかなく、ただでさえパソコンに対して若干の苦手意識を持っていたため、見慣れない形式や動作の多い Linux システムを利用することには不安や戸惑いを感じることもありました。

しかしながら、そのように様々な角度からコンピュータに関わることで、“限定された環境でのソフトの使い方”ではなく、“もっと全体的な目線からコンピュータをとらえ、その活用方法を見出していくという姿勢”というものが多少なりとも身につけてきたのでは、と感じます。

もちろん、情報活用に関してはまだまだ不慣れで、わからないことも多く、自分が理解できているのかどうか心配になるような場面も多々あります。

それでも、サイバーメディアセンターでの授業で得られるものは大きく、いわゆる情報化社会において必要な知識、技術の詰まった貴重な時間だと思えます。

自分のパスワードとログイン名さえあれば学内のどのパソコンからでも 自分のアカウントが使えるというシステムに非常に驚きました。また、どこからでも使用可能な Web メールシステムも良く利用しています。

Linux システムのパソコンはよく目にしていた Windows のパソコンとは違ったので最初は戸惑いましたが、授業を受けるにつれ慣れてきました。

今まで OS は Windows しか使ってこなかったのに、Linux はかなり新鮮でした。ブラウザも Internet Explorer 以外は初体験でした。

どちらも本当に使い勝手が違う。最初はそれこそブラウザの開き方すらわかりませんでした。

「OS はウィンドウズ！ブラウザは IE！これで世界が統一すりゃいいじゃないか！！」こんな無茶苦茶な感想さえ抱いていたのが正直なところ。しか

し、授業で先生に説明を聞き、TAの方々にも助けられながら、自分で操作していくうちに考えが変わってきました。全く扱うソフトが違うといっても、結局扱う操作はあまり変わらない。当然 PC 用語も変化しない。むしろ違った方向から、PC にアプローチできることはすごくいい経験になる。実際、家で PC を触る時も随分世界が広がった、深くなったと思います。

Linux そのものへの感想ではなくて申し訳ないです。ただ僕としては Linux に親しむというよりも、それを通してさらなる PC そのものの知識を得ることのほうが重要なので。この目的のための方法としては素晴らしい授業だと思います。僕の感想としては以上です。

家にあるパソコンを触ってきたとはいえ、インターネットを閲覧することがほとんどだったので私はコンピュータに関する知識については初心者でした。だから、全く最初から、というわけではありませんでしたが、コンピュータの初歩的な事から大学で学べるのは、とてもありがたいことです。

特におもしろかったのはホームページ作成でした。普段は何気なく閲覧しているものですが、センスの良いサイトを見る度に、どうやってこのページを作っているのかに興味を持ち始めてきたところだったからです。

実際に作り始めると、想像以上にややこしく、時間のかかるものだと実感しました。

これを頻繁に繰り返してサイトを更新して行くのだと思うと、ホームページの管理とはなかなか面倒な事なんだなと思ってしまいました。

とはいえ、一つのホームページを自分で作り上げられた事は、私にとって自信の一つになりました。

一限から情報はしんどいです。テストもさっぱりでしたし、上達してる気がしません。

きっとそれはこちら側の授業に対する姿勢の問題やと思います。はい。反省です。

パソコンの起動が遅いとかいう問題はないです。まだパソコンに対する恐怖は消えません。

このセメスター中に、パソコンのあらゆる機能をマスターし、オタクと呼ばれるぐらいになりたいと思います！

この情報の授業を通していろんなことを学びましたが、残念ながらまだ“パソコン恐怖症”なるものは治っていないように思います。

しかしこの授業で習ったことを今後も活用し、もっとパソコンが使えるようになりたいです。

この授業では絵を描くのが一番楽しかったのですが、他にも自分で HP を作ったのはすごく自信につながりました。
